

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11288

市民会館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	市民会館費		
	大事業	市民会館事業		
	中事業	市民会館管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市民会館条例、和歌山市民会館条例施行規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市民会館を安全に利用できるように維持管理する。		和歌山市民会館を安全に利用するための維持管理事業			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 産業廃棄物の収集運搬及び処分業務等	修繕費及び火災保険料の支出 産業廃棄物の収集運搬及び処分業務等

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	202,541	195,699	206,261	204,833	112,806	108,609	2,459	0	2,459	0
伸び率(%)	△2%	△2.6%	1.8%	4.7%	△45.3%	△47%	△97.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,571	7,491	12,501	8,201	7,990	4,189	10,395	0	0
	正規職員以外	0	0	1,456	0	0	0	3,413	0	0
	小計	7,571	7,491	13,957	8,201	7,990	4,189	13,808	0	0
国庫支出金	0	0	1,650	1,650	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	80,186	60,515	73,542	23,837	26,094	24,145	250	0	250	0
一般財源(税等)	122,355	135,184	131,069	179,346	86,712	84,464	2,209	0	2,209	0
所要人数(人)	正規職員	0.94	0.93	1.57	1.03	1.03	0.54	1.34	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.77	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 97,645千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
自主事業開催数		回	目標値	50	50	25		
			実績値	51	19	16		
			達成度(%)	102%	38%	64%	%	%
自主事業入場者数		人	目標値	25000	3200	1600		
			実績値	17376	3106	3126		
			達成度(%)	69.5%	97.1%	195.4%	%	%
施設利用件数		件	目標値	5000	1000	2500		
			実績値	1795	1020	915		
			達成度(%)	35.9%	102%	36.6%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和3年9月末に閉館させたが、跡地の利活用に関して建物を再利用する可能性があるため、施設を適切に維持管理する必要がある。
見直し・改善内容	跡地の利活用に関して建物を再利用する場合に備え、施設の適切な維持管理を図っていきたい。